



2022年度 郡上の未来をつくるアイデアコンテスト 応募提案

タイトル	郡上ねこむすびプロジェクト
課題	<ul style="list-style-type: none"> 猫の飼育が一般的になり、ペットショップなどで簡単に猫を購入できるようになった →ペットを飼うのが一般的になった今、ペットショップで簡単にお金を払って買えるようになった分、手放すのも簡単になってしまった 避妊去勢手術をしていない野良猫に餌を与える人がいて野良猫の増加につながっている 郡上市内の高齢者が多く、寂しさを埋めるために猫を飼い、亡くなった後の行き先が無く、保健所に持ち込まれたり、野繁殖して野良猫化している現状がある 地域猫の認知度が低い  <p>野良猫、捨て猫 (イメージ図)</p> <p>野良猫が増える？</p> <ul style="list-style-type: none"> 野良猫が畑やガレージ、ゴミステーションを荒らす 野良猫の鳴き声うるさい 野良猫がペットと喧嘩してしまう <p>地域猫とは？</p> <p>地域猫とは、飼い主のいない猫を地域で、餌の管理、糞尿の処理をして、去勢・避妊手術が施されている猫のことです。</p>
提案内容	<p>刃木</p> <p>TNRとは??</p> <p>Trap = つかまえて</p> <p>Neuter = 不妊手術をして (さくら耳カット!)</p> <p>Return = 元の場所に戻す</p>  <p>メリット</p> <ul style="list-style-type: none"> 猫の生活を変えることをしなくて良くなる 野良猫の増加を阻止できる 猫の発情期が来なくなるので鳴き声が迷惑になることがなくなる 餌を管理する人 (プロジェクトメンバー) で見るのでゴミステーションなどを荒らすことがなくなる 感染症のリスクを減らすことができる 死んでしまう子猫を減らすことができる <p>デメリット</p> <ul style="list-style-type: none"> 手術をするため生命に危険が及ぶリスクがある 手術代がかかる <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> 手術代 (7700円) については動物基金という補助金で4000円賄う。その他3000円は、おにぎり・パンで稼いだお金で賄う

さくら耳にする理由



- また間違えて保護され不妊手術を受けさせてしまう原因になる
- ピアスなどにすると生活する中で邪魔になってしまったり、外れてしまう可能性がある

私たちの経験

提案内容

- 小学校4年生の時に郡上市内で友人と段ボールの中にビニール袋で包まれていた目すら空いてない今にも窒息死しそうな子猫6匹保護して、絶望したことや残酷さを知ったこと
- 家の近くに野良猫5匹がいて保護してあげたい思ったこと
- 郡上の人が山へ猫を捨てに行っていることを知ったこと
- 野良猫が郡上市にもたくさんいることを知ってかわいそうと思ったこと
- 地域猫ということを知ってそのことをたくさんの人に知ってもらって野良猫へのイメージを変えたいと思ったから
- 76円の命という本で猫がたった76円で殺されていることを知ったこと

私たちの考え

でも、避妊去勢手術をして里親に出したところで猫たちは本当に幸せなのか？
里親に出せば、食べ物や温かい家がある。
でも、里親が見つからなければ殺されてしまう。
どれが正解か私たちにはわからない…
でも、野良猫たちはこれからも増え続ける。
すでに、18歳以下の人間の数よりも野良猫の方が多い。
なら私たちは、まずこれ以上猫が増え続ける状況を止めよう!!



- TNRのNにあたる避妊去勢手術の基金を貯める
- さくら猫（地域猫）の認知をInstagramなどのSNS活動で広げる

2022年度 郡上の未来をつくるアイデアコンテスト 応募提案

<猫について>

①郡上市内の野良猫見つける・野良猫の目撃情報をSNSなどを通して教えてもらい保護する

(郡上市和良町内で野良猫2匹の保護実施中)

②捕獲次第TNRの避妊手術を随時専門病院行う
手術をした印としてさくら猫の耳を桜の形に切る

③1日病院で様子を見たら、元の場所へ返してあげる

④手術後は、プロジェクトメンバーやボランティアの方に見守っていただいたとき、餌をあげたり、糞尿の始末などの世話をしてもらう。

(猫の特性として決まった場所で餌を食べたり、糞尿をします。)

<基金調達・経費等について>

提案内容 毎月第3日曜日タテマチノイエねこのまにて

①おにぎりの販売

土鍋で炊いた郡上産のご飯を使い、猫に見立てたおにぎりをタテマチノイエねこのまにて販売

(予定)

みけ (けいちゃん)

くろ (海苔)

しろ (塩)

チャトラ (おかか)

サバとら (おぼろ昆布、甘辛味噌)

キジトラ (塩昆布、壺漬け)

各220円 (原価120円 利益100円) × 120個



イメージ図

②肉球パンの販売

いそばんさんにご協力いただき、ねこむすびプロジェクト限定のパンを作ってもら

ねこむすびプロジェクト限定肉球ぱん

220円 (利益50円) × 50



イメージ図

全体利益15000円

その他 寄付金

これらの資金で下記のことを賄っていく

- ・野良猫や捨て猫の手術費用7700円/1匹あたり
- ・タテマチノイエの利用料 2000円
- ・ねこの送迎費 2000円
- ・保護機、ケージ、キャリー代
- ・リターン後の砂代、餌代 1ヶ月

月3匹目標!!

<p>見込める 効果</p>	<p><SNSでの活動について></p> <p>Instagram → Neko_03 で活動中 その他、Twitterも1月中に設立予定</p> <p><見込める効果></p> <ul style="list-style-type: none"> • 野良猫の増加抑制につながる • 捨て猫や殺されてしまう猫が減る • 猫から癒しや暖かさを得ることができる • 私たち中学生がこの活動を行うことによって、猫を捨てることや、殺してしまうことの抑制につながる
	<ul style="list-style-type: none"> • 動物が嫌いな人もいるけどその方達も尊重できる • 猫の悪いイメージをなくすことができる • 野良猫による被害が減る • 猫がいることでどんな世代でも共通の話題ができる！ <p><自分たちで行うこと></p> <ul style="list-style-type: none"> • 回覧板等での活動のお知らせ • その他のSNSのアカウント開設 • SNSでの活動報告、情報発信 • SNSでの野良猫の目撃情報の収集 • おにぎりの製作、販売 • ボランティアの収集 • 和良町内でのさくら猫の見守り
	<p><協力していただきたいこと></p> <p>市</p> <ul style="list-style-type: none"> • 猫の手術トラックを郡上市にも呼んでほしい • ボランティアや寄付について郡上ケーブルテレビや広報等で呼びかけをしてほしい <p>猫むすびプロジェクトメンバー</p> <p>木村聖子さん</p> <ul style="list-style-type: none"> • タテマチノイエねこのまを利用させていただく <p>いそばんさん</p> <ul style="list-style-type: none"> • 肉球パンを作っていただく <p>私たち中学生が主体となってTNR活動のための基金を集めたり、SNSなどで活動を広めたりしていくでも、中学生ではできることが限られてしまうことが現状 そこで地域猫について皆さんに理解をしていただきみなさんと人間と猫が共生することができる郡上市を作りませんか。</p>



2022年度 郡上の未来をつくるアイデアコンテスト 応募提案

タイトル	高鷲中コミュニティスクール祭												
課題	郡上市の0～14歳の若者層は年々減少しており、その数値はS40の30%からR2では11.8%と減少し続けている。このまま減少し続け、さらに高齢者が増えるなか、世代を超えた地域との関わりがなくなっていく。このことから、だんだん活気がなくなりさらに戻ってくる若者が減ってしまう。												
提案内容	<p>*学校に地域の人はいれず、交流があまりないため学生と地域の関わりが減っている。だからこそ、もっと学校を開放し繋がりを増やしていく。 *学校での行事に地域の人との関わりを持ち、ぜひOB、OGも集まれるような祭りを開催する。</p> <p>①高鷲の魅力となるイベントの開催→若者が戻ってくるきっかけに イベントの内容 ・学生(OB、OG)と地域の繋がりができる出し物→参加型のゲーム(謎解きゲーム)、発表会(②や、生徒たちの発表) ・地域の店を知れるキッチンカー(サンエイ食品さんなど、...) + 郡上高校のマルシェ(花やヨーグルト、...)</p> <p>②仕事の体験→郡上の特色を生かした農業への関心の向上 【目的】・学校の畑をもっと日常的に活用し、農業を学びながら作物を収穫する ・農業の最先端のテクノロジーを知る 【対象】郡上市内の中学生 【メリット】・集団行動 ・分担(チーム) ・畑の利用の計画 →社会性を学べる 【デメリット】 時間がかり、すぐに来れない ↑メロンなど、... 高鷲にない物</p> <p>【発展】作った作物をより良いものに価値付ける(地域の気候に合ったものに、...)</p> <p>③2つの活動をコラボさせる *学校の行事として開催する ・畑で取れたものをイベントで販売(生徒が販売) 作物のデータ発表(チーム別など、...) ↑水やりの記録 気候 成長記録など</p> <div data-bbox="1161 712 1485 1115"> <p>↑Point ・イラスト ・写真 の活用 ・自分の好きな事、趣味を詠ります ・世界中の問題に触れる</p> <table border="1"> <caption>人口構成の推移 (S40 vs R2)</caption> <thead> <tr> <th>年齢層</th> <th>S40 (%)</th> <th>R2 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0-14歳</td> <td>30.0%</td> <td>11.8%</td> </tr> <tr> <td>15-64歳</td> <td>30.0%</td> <td>50.7%</td> </tr> <tr> <td>65歳以上</td> <td>37.5%</td> <td>37.5%</td> </tr> </tbody> </table> </div>	年齢層	S40 (%)	R2 (%)	0-14歳	30.0%	11.8%	15-64歳	30.0%	50.7%	65歳以上	37.5%	37.5%
年齢層	S40 (%)	R2 (%)											
0-14歳	30.0%	11.8%											
15-64歳	30.0%	50.7%											
65歳以上	37.5%	37.5%											
見込める効果	<p>新たな価値を生む ①高鷲中(郡上市)の新たな魅力となる→地元の元学生の戻ってくるきっかけに+学生と地域との関わりが増える ②農業への関心生まれる→地元の良さや働くことの価値(やりがい、お金、...)を知る ③物売る仕事の体験、①に向けた②の活動という繋がり</p>												
自分で行う活動	<p>①・イベントに主催側として参加して、接客・出し物をする ・キッチンカーに出店してもらえるように依頼 ・イベントを中学校で行う許可を貰う</p> <p>②・田んぼや畑についてのアンケートを行う(自分の家で農業を行なっているか?、どんな物を作っているか)</p> <p>③・中学校の畑でグループごとでイベントで販売する野菜の栽培を行い、タブレットにデータを残す(気象、水やりの頻度、成長記録など) ・最新の農業を教えてくれる人を探す(JAに聞きに行く)</p>												
協力者が行う活動	<p>①・生徒 …店の手伝い(接客など) 出し物の準備・発表 ・ほーかな高鷲広報(LINE) …イベントの告知</p> <p>・キッチンカー …商品の販売</p> <p>・サンエイ食品など …出店してもらえる店の紹介</p> <p>②・生徒…グループごとで野菜の栽培、データを残す ・JA …最新の農業を教えてくれる人の紹介</p> <p>③・生徒…栽培した野菜の販売、データの発表</p>												



No. 1

2022年度 郡上の未来をつくるアイデアコンテスト 応募提案

タイトル	つながる・超える ～ 世代と学校 ～
課題	<ul style="list-style-type: none"> 学校間や世代を超えたつながりが少ない。 郡上市の広報を見ている人が少ない → 若者や広報を見ない人が郡上の現状を知
提案内容	<p>郡上市内の各中学校を対象とする。</p> <p>↳ 八幡中学校、八幡西中学校、郡上東中学校、白鳥中学校、大和中学校、郡南中学校、高鷲中学校、明室中学校 の8校</p> <p>支給されているタブレットのアプリ (pages、iCloud) を利用し、自分たちの学校のことを紹介・共有する。</p> <p>(紹介する内容)</p> <p>学校のこと、部活動、行事、ニュース、お祭り、自分たちの校区や地区のお祭り、お祭り、学校や生徒からのお願い など</p> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; display: inline-block;"> 学校で行っている活動 </div> ⇒ 取り入れる、新しい学校、郡上へのつながり <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; display: inline-block; margin-left: 20px;"> お祭り、お祭り、お祭り </div> ⇒ 異なる地域に住む人 ⇒ 地域活性化、新たな出会い、活動が生まれる。 <div style="border: 1px dashed purple; border-radius: 50%; padding: 10px; display: inline-block; margin-left: 20px; color: purple;"> 郡上感 UP </div>
見込める効果	<p>学校間や世代間で間接的につながりが生まれる。</p> <p>郡上市のいろいろな良さや課題、場所を中学生の目線から発信し共有できる。</p> <p>広報に載せることで読むきっかけが下さ、郡上の現状を知ることが下さる。</p>
自分で行う活動	<p>各学校に許可を取る。 →</p> <p>↳ 電話、Zoom など</p> <p>写真の許可を取る</p> <p>載せる内容のルール</p> <p>↳ DSファイルに載せる。</p>
協力者が行う活動	<p>各学校</p> <p>↳ 掲載記事の制作</p> <p>広報を作る方々</p> <p>↳ 広報を制作する</p>

2022年度 郡上の未来をつくるアイデアコンテスト 応募提案

タイトル	
課題	
提案内容	<p>担当する人は各学校で決める。 ↳ 学校のこと、地域のことを上手に決める(アンケート等意見集める)。</p> <p>学校間、世代間を超えて紹介、共有するためには、</p> <ul style="list-style-type: none"> 第一段階として、各学校で決めた提案をPDFファイルの共有、教材等に入れ、学校間で共有する。 第二段階として、広報に載せ地域にも紹介、共有する。 <p>素材 関連人口 郡上の人 魅力</p> <p><u>地元を見つめる</u></p>
見込める効果	
自分で 行う活動	
協力者が 行う活動	



2022年度 郡上の未来をつくるアイデアコンテスト 応募提案

タイトル	大自然満喫 郡上市縦断 SDG s Tour
課題	2040年には郡上市の生産年齢人口が高齢者人口よりも少なくなるという統計データから、このままでは郡上市が持続できない市となる可能性がある。
提案内容	<p>昨年度の先輩から引き継いだ「郡上市ネイチャーランド」具現のために、郡上市の魅力を知ってもらうために教育旅行「大自然満喫 郡上市縦断 SDG s Tour」2泊3日の旅を提案する。</p> <p>この教育旅行の「ウリ」は、郡上の大自然をたっぷり満喫しながらSDGsの17の目標について考えることができることである。</p> <p>【1日目】 郡上市の北部で自然体験を通してSDGs14の目標「海の豊かさを守ろう」を考える旅「Beginning of ocean」 スタートは「あゆパーク」で長良川システムを学び、色々な体験を通して、清流長良川の実感してもらう。 その後、北上して「阿弥陀ヶ滝」「清流長良川源流」「分水嶺公園」を訪れ、大日ヶ岳の山々からしみ出した水が沢となり長良川へそして太平洋に流れていく166kmの旅のスタートを見て、触れて学んでもらう。 最後は、ひるがの大自然の中で、ジップラインで自然の風を満喫してもらう。</p> <p>【2日目】 八幡の街並みを散策しながらSDG sの目標11「住み続けられるまちづくりを」を考える旅「生活の中に生きる水文化」 最初に、郡上八幡城から八幡の街並みを眺め、清流長良川に流れ込む吉田川が街の中心を流れていることに気づき、その水風景のよさを実感してもらう。 また、これまでの大火によって水路が整備されてきた歴史について学び、防火用水や生活用水としての欠かせないものとなっていることを学ぶ。 その後下駄づくりを体験し、自分が作った下駄をはいて郡上踊りに挑戦してもらい、下駄の音が街に鳴り響き、心が癒される郡上八幡のよさを実感してもらう。</p> <p>【3日目】 郡上市の一番南に位置する美並町の粥川の森や清流長良川でSDG sの目標15「陸の豊かさを守ろう」を考える旅「Future of forest」 最初に粥川の森に入ってもらい、200年前から植林を行ってきたことを知り、これから100年先、200年先を見据えて植林体験してもらう。 その後、森林の中をE-バイクで駆け抜け、ブッシュクラフトなどの体験を通して、これから森とどのように利活用していくとよいかを考えてもらう。 次に、清流長良川に移動し、ラフティング、sup体験、シャワークライミングで川遊びをたっぷり満喫してもらい、清流長良川との共存について考えてもらう。 アウトドア企業の方から「100年後も遊べる川にしたい」という思いを聞き、一緒に清流長良川のごみ拾いをしてこの旅が終わる。</p>
見込める効果	小中学生を対象にした郡上市の魅力を知ってもらうための教育旅行をプランニングすることで、多くの若者を郡上市に呼び込み観光客の増加が期待できる。
自分で行う活動	①コンポストを使った土づくりの事前実験 ②観光連盟への働きかけ ③ツアーのPR
協力者が行う活動	①PVの作成 ②宿泊施設の確保 ③応援

<p>タイトル</p>	<p>出産キットで <u>豊</u>かな郡上へ!!</p>
<p>課題</p>	<p>・現在、出産ができる病院は八幡しかない → 離れている所に住んでいる人は 辛い、子育てが厳しいと思われファミリー層が 陣痛が来てからでは大変、命に関わる 郡上に物住しない。[少子高齢化を速める] また、出産以外にも入院しなければ病院に 通うのに人手、移動手段、交通費などかかる。</p>
<p>提案内容</p>	<p>① 出産キットを作ってそれをAEDのように町中に接置する & 宣伝 ・白鳥や大和の病院でも出産が可能になれば一番いいが、人手と費用を欲する ので簡易的でもいいけどどこでも緊急でも対応できるようにする。 ・おむつ災害時用に出産に対応できる「分娩キット」というものがある。 しかし避難所で使うことを前提とされているので、そこに合わせてぬるま湯を用意 できる道具を一緒に入れる。</p> <p>② 妊婦中の方に渡しておく → 家で動けないうち、 救急車が来るまで耐えられない時、速時に使えるように</p> <p>③ 救急車にキットを乗せて妊婦さんの元へ向かう。 ・出産が予定とずれて危ない場合、妊婦さんが病院に向かうという 普通の概念を消す。周りの目を気にして<u>身体に無理をさせない</u>ように。 速く来てもらって安心・安全を。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-left: 20px;"> <p>中身の マット・バスタオル・エナジー イーシニア・手袋・マスク ガーゼ・脱脂綿・包材 ぬるま湯をつくる氷の道具 eat</p> </div>
<p>見込める効果</p>	<p>・妊婦さんの安心・安全を守る ・出産の大変さや辛いときの対処法を世に認知して ・郡上の自然豊かに住みやすく、子育てがしやすいメリットに決めるの一押し!! → 若い人が郡上に物住してきて、少子化の緩和、町おこしにも繋がる</p>
<p>自分で 行う活動</p>	<p>・出産キットを町のどこに置けばいいか考える (置く距離の間隔や数、立地など) ・出産キットの存在を知ってもらうために宣伝する "ポスターを作る、それをお店などに貼る ・使い方をふくめた動画を作成(PR動画) ・放送局やケーブルテレビ・ラジオなどに依頼して流してもらう</p>
<p>協力者が 行う活動</p>	<p>・出産キットの制作・量産、町への接置 ・病院との連携、キットを使っていく活動を行う ・キットの存在を認知してもらうため、学校の授業や産婦人科で 享受してもらおう。 ・郡上市のHPに記載し強みにしていく。 ・PR動画を放送局に頼んで流してもらう。</p>